東北風景写真家協会会員向け会報 「東風季報」第17号です。

当会報は会の行事、活動計画、 種のお知らせ、撮影適所、撮影情 報、撮影テクニックなどの記事を 掲載しております。

> 用で高速代無料だったの た。夕食では罹災証明利 ど苦にはなりませんでし

飲み物一杯は全員に配

の美味し

で頂きました。夕食時に

驚したことが起こりま

た。

山荘が突然縦と横

天気が優れず、

残念なが

3日間ともお

布、3日目の帰りの昼食

発 行 東北風景写真家協会 〒980-0803 仙台市青葉区国分町 3-8-1 エーゼット・フォト内 勾当台ビル 1 階 Tel 022-722-3755, Fax 022-722-3766 秋葉・進藤

の大型バスにゆったりと 山室堂撮影会」が10月 |見ると隣の長野県境付近 員は31名でさくら観光 |を記録したのです。 5~7日の日程で実施致 撮影ツアー「紅葉の立 |です。テレビニュースを ました。参加された会 |協会主催の今年第2|に大きく続けて揺れたの 紅葉の立 従業員も今迄経験したこ |でマグニチュード4クラ |スの地震が発生し震度3 室堂撮 山荘

|ら見えないまま終わりま

ーンを撮った方も何人か の少し赤くなり、そのシ たが北側の山と雲がほん した。しかし、一瞬でし

おりました。帰りはもう

一度弥陀ヶ原に立ち寄 綺麗な草紅葉を撮

間は余り取れませんでし が、秋の夕暮れは早く時 りて撮影に入りました いたので弥陀ヶ原に向か ことと少し時間も押して |変化に富んだ風景を撮影 気でガスが発生、見難い 予定でしたが、生憎の天 | り、ガスが一時晴れたり 日本一の称名の滝に寄る |天気は時々小雨が降った 富山県の立山に向かい 乗して早朝仙台を出発、 イド佐々木嬢 (?)が同 た。当初予定では落差 々撮影を行いました。 ました。弥陀ヶ原で降 ま 々の来る前に雪が降った での撮影組に分かれて其 出来ない状況が多かった ため紅葉は終わってお の目まぐるしいお天気で り、雲やガスが多く遠望 できました。室堂側は我 黒部平方面と室堂周辺 2日目の撮影は大観峰 お 度来てもよい処でした。 るとのこと。それでも何

見え、綺麗な紅葉も見ら 影を皆さん期待していたは美しい夕日と朝日の撮 れて美しい風景を撮れた 様子を見に行った熱心な きてカメラを持ち、外の なお降り続いていまし は真っ白な雪に覆われ、 |方も多くいました。今回 た。それでも早くから起 方が多かったようです。 のですが、黒部は青空も 3日目の早朝撮影は外

んでもらえたのでそれほ が、機材や荷物を車で運 に向け歩いて登りました くなった山道を室堂山荘

室堂ター ミナルから暗



紅葉の十和田

蔦温泉連泊

の二泊三日で開催されま 会が10月26~28日 た十和田・八甲田の撮影 が企画し当協会が協賛し た。参加者は22名。 エーゼット・フォト社 ・八甲田撮 画しました。

が多く、当協会では立山 紅葉を撮りたいとの希望 が、やはり秋の八甲田で の撮影ツアー が有る為に 八甲田に出掛けました 春に当協会主催で新緑 ト・フォト



丸山携帯:090-

5 5

81290-

559**4**|

4 3 9

トウホクフウケイ

14388881

シャ シンカキョ ウカイ

022-279-5021

AZ・フォト:022-

和気藹々とした撮影会だ たとのこと。 小型バスでの撮影会で 来年も実施の予定とのこ 影会の折に丸山氏から計 天候にも恵まれ連日真っ り戦災復興記念館で勉強 赤に焼けた蔦沼を撮影。 で蔦沼の朝焼けがメイン と。御期待下さい。 12月8日1時30分よ

朝焼けに染まる蔦沼 候によってその姿を変え に何回も開催しておりま が、その都度季節や天 富士山の撮影会は過去

お出でになるとのこと。 申し込みをされた会員も い方に変化してきており、 影ツアー 画が話されており、既に 日本や世界の風景が年々悪 担当幹事で今年も実施し 山の撮影ツアーや他の撮 せんしシャッターを切らな 日時は平成24年2月1 田貫湖の休暇村に予約を主催:近畿日本ツー て計画しております。立 回当協会主催撮影会とし ました冬景色の富士山撮!らお終いではなく、 ~3日で宿泊は河口湖と|養用:49,800| |内会長と丸山撮影会||て我々の前に姿を現しま を来年度の第1 是非美しい富士山撮影に挑 ければ作れません。 品は出掛けなければ写せま 戦しては如何でしょう。 は出来上がります。 挑戦して見応えのある作品 す。 自然風景は一度 最近、 リスト 屋撮った また作

回 撮 影 実 習 セミナー 報告

平成23年度第2回協会主催撮影ツアー

報告

第

4

月七日 (月) に開催しま えようと皆真剣に撮影に が早く、光の様子が様々 び届けてもらって大変助 ていましたが、雲の動き 場所に出向いて撮影を行 で各々自分の好きな撮影 した。14名の方が参加 いました。お天気は晴れ 為、36枚までしかシャ の制約から一人一本の 励んでおりました。ただ に変化してその一瞬を捉 し、フィルムとデジタル 際センター 周辺にて十一 館、広瀬川河畔、仙台国 習セミナー を仙台市博物 し、フィルムは現像時間 で映像を確認して5点を ターが切れず、苦心し 今年第2回目の撮影実;っ かりました。デジタルは 楽しみながら大いに勉強 選択、講評して貰いまし の場で一人ずつPC画面 勉強になったのでは。 シーンを捉えてこれまた ッターが切れ、 パソコンを持ち込み、そ 運んで現像を済ませ、再 れたフィルムを自転車で 会員が参加され、回収さ ている吉田カメラの高橋 方で色々変化する一瞬の ルの方は好きなだけシャ 今回は現像をお願いし たと思います。デジタ 丸山講師の面白いデ 此方は此

せないお馴染みのバスガ |と思われたようです。

塘が小さくなってきてい

近は土地の乾燥が進み池 影。竹内会長によると最

お任せできる勝本氏と知 座って、安心して運転を

仙台から来た者達が地震

とが無いと驚き、「我々

を連れてきたのでは?」

豊富でお客様を飽きさ

工夫にも繋がり勉強にな 協会協賛撮影会報告 になりました。

何回も 手続きを会員の皆様にお願

ゆうちょ 銀行 北風景写真家協会 80-5272599 七十七銀行 旭ヶ丘支店 6回定時 総会開催 につ 5

第

会の活動もどうなるかと ちください。また、 程も決定いたしました。 |影実習セミナーも無事開||考えております。その節に 自スケジュールに入れて;は現在小松ひとみプロと開;ておりますので、会員皆様 幹事で新年度の活動計画 日本大震災が発生して、 おいて下さい。今年は東 の春・秋の撮影会及び撮 おります。詳細のご案内 も実施致しましたスライド 予定しております。50名 午後2時よりを予定して 日時は1月29日 (日) |で一層のご協力をお願い致;しますが、展示作品は一人 催でき、予定していた活 のご協力により協会主催 心配でしたが、会員皆様 は改めて致しますが、各 等を打合せて、総会の日 と月となり、 を達成することが出来い申し上げます。 成23年度も残りひ 担当役員・ 事とも頑張って参りますの す。詳細は改めてご通知致 ました。 のご協力を得ての抽選会も その折の楽しみと. の懇親会も予定しており、 す。是非、お楽しみにお待 ご参加をお願い致します。 催に向け話を進めておりま &トークセミナーは来年度|以上の会員の出展を想定し |します。今年の総会の折に||2点以内で半切又は全紙を |画も達成すべく、役員・幹| ディアテークで開催致しま 実習セミナー並びに他の計 5月31日からせんだいメ |年間各2回の撮影会と撮影||知らせをしておりますが、 はご協力を頂きます様お願 来年度もご して皆様 引き続き 総会後 びに「東風季報」の発行・ すが、当協会の各種事業並

協会企画撮影会 の富士山撮 影ツアー ご案

行口座のどちらかに振込ん い致します。 で下さい。 支払いは左記の当協会銀

負担をお願いします。 員には別紙にて案内同封し てますので2年分の支払い をお願い致します。 尚、今年度会費未納の会 振込に要する手数料もご を使用。手持ち作品で結構 A1000の額で黒マット は半切又は全紙A300か

不可能の方はエーゼット・ 会場へ持込み、持ち込みが し、参加者は作品を前日に です。申し込みは先着順と

(振込先口座)

を見て調整の予定 フォトで作品を預かりま 藤電話番号: 展示点数は申込み人数

既に前号で会場確保のお 3回作品展示会 開催について

5

写真コンテスト 上位入選者

平成23年度 県民共済写真展

城県知事賞

佐々木貞夫「視線」

宮城県写真展

幸野収三「残照」 JPC展 查委員特別賞

北村幸一「幻光」 人選 (日本の自然部門) 新規入会会員紹介

には作品創りに励んで是非

(日本写真文化協会展)

秋田県大仙市 仙台市戦災復興記念館 倉田勇

来月から新年度に入りま

お支払いのお願い 平成24年度年会費

戦災復興記念館が来年1

あたっています。つきまし

郵送等は会員皆様から集め

た年会費を基にして運営に

ては新年度の年会費支払い

展示の予定。会員の方で出 でご連絡下さい。展示作品 展希望の方は進藤幹事長ま 〇最大展示点数:46点 ○期間:1月30~31日 示の依頼を受けました。 とになり、職員から写真展 月末に30周年を迎えるこ と5階フロアに2月一杯迄 〇会場:4階第2会議室 作品は引続き1階ロビー

週間、六本木の「富士

年二回募集があります。 か、工夫が必要です。

写真題名 私は今まで

比較時有利なため)、思

挨拶文を添え二ページ目よ

り春夏秋冬の順にファイ

で撮影しているので他と

歌も添えました)。

にタイトルを記載 (私は短

にて提出(大判フイルム

十一月十一日より一

東京」にて「四季の余 フイルムフォトサロン

われることを、事例ご

えることを書きました。

提出用プリント

きたい方に、参考と思

開催に漕ぎ付きまし

この個展に神経を注ぎ

た。これから個展を開

「水のある風景」を選 品とする。雲・雪を含む

— 冊

つける。

び、作品ごとに短歌を添

通知を受け、その後は 月半程経て審査合格の

用による豊かな色合い ょう。私は大判カメラ使 か素直に書けば良いでし

に、緻密な銀鉛写真を作

いを頂き恐縮しており 東風協の皆様よりお祝 韻」を開催しました。

項を記入し、自分はこの

た。

展示作品内容 必要事

ものは全てボツとしまし

に違和感の少ないものを選

びページを捲るごと変化を

AAP

ル。見開きのページは両側

ピントや構図に問題ある

い入れのあるものでも、

作品にて何を表現したい

兀

の余

ムフォトサロン東京

髙橋 信一 写真展

信

韻」を踏襲しました。 二回実施した「四季の余

一月初めに応募後、

ら審査員の目に留まる ころを四つ切クリスタル

で済むため)。作品ごと もファイルを回さない

りです。その甲斐あってか

を覚悟し、如何にした

審査はかなりの難関

用に提出するプリントは

(審査時横位置の写真で きめのファイルを使用 縦横両用挿入出来る大 の写真集として考え、 提出用ファイル

以上、他人に見てもらい評

価して頂く努力はしたつも

場所・使用レンズ等の撮影

最終ペー ジに作品の撮影

データを表にして掲示。

ば良い。

北

村

汀

職の後一年間の準備を このオーロラ撮影旅行 影に挑戦できました。 し、念願のオーロラ撮 待ちに待った定年退 空港到着、気温零下28 20 ㎝でした。

第18号

所に盛り込まれた印象 ラマチックな要素が各 は振り返ってみてもド いものでした。 オーロラ撮影には好

か、現地の天気予報を

天が絶対条件となるな

最適とはいかぬまま出 ネットで調べつつも、

発となりました。 二〇 カ州のフェアバンクス の誕生日の早朝アラス 一年2月25日、62歳 ヒの林は、零下35、 ラスカ特有の針葉樹トウ 山頂での撮影に出発。ア

後9時キャタピラー 車で つ夜の撮影を待つ。夕食 ら温泉の混浴を楽しみつ る。昼間は水着着用なが がる霧と朝日の撮影に入 撮影に臨むも、8時ごろ 泉に移動。夕食後最初の り快晴、温泉から湧きあ 影は断念。翌日は早朝よ までやまず、この日の撮 から降り出した雪は深夜 、曇りで強風、 観光後宿泊先のチナ温 積雪は はない。 ライバー は日本語が流暢 OPツアーにむかう。 ド 妻の経営するロッジへの 撮影後フェアバンクスに ら快晴、再び早朝の霧氷 していたような大きさで の初の出逢い。ただ想像 く蒼白く光るオーロラと する。帰り間際、ようや 現を待つだけと待機する 戻る。夕食後は日本人夫 が予兆さえ見えない。止 む無く星の長時間撮影を 3日目。この日も朝か

快 台、それも台ノ原に住ん でいたとのことで、地球 なんと学生時代に仙 後の撮影に備える。この で午前中は朝寝坊して最 4日目 連日の寝不足

は狭い。期待も高まりな なロケーションである。 ウスから観測できる贅沢 谷さんというオーロラに がらロッジへ。ここは熊 トウヒの林の中のログハ を探して建てたそうで、 に適した北側斜面の土地 日の撮影地は個人所有の と、今夜の活動は活発に れロケーションは良いの 始め、これが予兆現象 方向に蒼白い光の帯が出 する。到着直後から南北 だがポイント探しに苦労 同行のガイドによる

林に囲ま

最高、後はオーロラの出 な満天の星。撮影条件は には見たこともないよう 晴。見上げる漆黒の夜空

ていると、10時頃北の方 うもこれまで写真で見て ー ロラが現れ撮影に入 る。期待感が強すぎ「ど 角に蒼白く光る帯状のオ とカラフルに蒼をべ られ、速い揺らめき でとは違う動きが見 のこと。間もなくこれま スにしてオレンジ

のが正直な気持ちであ 一つ盛り上がりに欠けた らすように次々

これはもしかし **ごめいている。**

と形を変えてう

光が、カーテンを揺 やピンクの混じった

終え、翌日の便で帰国

奮しながら最後の撮影を

たらオー ロラ爆 度の応募で審査を通過 間掛けても、日を改め わります。会場の「ス て見直すと其のつど変

審査通過後の諸手続き 富士フイルムの担当者と 致しました。

ペース1」の図を書 4点と全紙13点の2 の変更を経て、全倍1 間隔を計算し、 き、壁毎に額の寸法と 7点を確定。 何度か

備を含め29点のプリ ントを富士系列のクリ 額屋さんにて実施。 エートに頼みました。 展示用プリント 裏打と額装 仙台の

作品選び 相談のうえ、 また楽しい時間です。 Lのプリントを並べ何時 一番難しく、 進めてい 2 け に配置 (今回は一番目 展示方法を受付机から 右回りとし、季節の順 に会場の下見を行い、 下 見 開催の一月前

うに降ってきたのです。 発・ブレークアップか? る勢いで光の帯が矢のよ と思う間もなく雷が落ち この光は扇子を開いた様 ち着け」と自分に言い聞 ガネやファインダー を曇 ともかく「落ち着け、 らせ、ほとんどノーファ 夢中でした。吐く息がメ ィルムを変えながら無我 ラでアングルを変え、フ かせながら、2台のカメ インダーの撮影となり、 落

40分続いたでしょうか、 真上に降り注いで来るよ り、打ち上げ花火が頭の うでした。 に周囲の牧場全体に広が 光のショーは30分から

今振り返っても「あれは ろうか?」と夢の中のよ 現実の出来事だったのだ

RAW現像のイロハを学

紅茶を飲みながら待機し

なることが期待されると

てみないと気が済まなく かれると、何度でも行っ なことにはこれに取りつ 状なのだそうです。厄介 所謂「オーロラ病」の症 うな一瞬でした。 これが なるようです。 全員大興

きたのとは違う」ともう

の毛越寺の「曲水の 産に登録された、平泉 に付く位置に、世界遺 宴」をおく) すること している人やプロの いう心当たりが

指定業者「フレームマ 展示場への搬入搬出は 般の運送会社は入れま にしました。 ン」のみ実施でき、一 作品の搬入搬出 満足致しております。 もかなり評価して頂 えて楽しい一週間で 倒されぱなし) に出 味としている大勢の が十人余り、写真を た。心配のあった短 (女性のパワーには

出入りを計算し八千人 出は三千人強(富士の 強)と思っておりま 計算では三箇所の扉の 私としては開期中の人 が、天候には恵まれ、 日こそ雨も降りました 個展の開催開催初 大判カメラを使用 おりません。体力的に 今後については考えて の個展は私の写真生活の個展は私の写真生活の ります。 も限度かなと思ってお の集大成としており 皆様のご支援により 催できましたことを

写真ブック 風景&ネイチャー 撮影の教科書 他

マクロ写真に挑戦! 撮影に最低限必要な デジタルカメラでど とそれぞれの撮り 知識、代表的な被写体 風景写真や自然同 方、 こ う 撮 真を この本は当協会顧問の井 イントを押さえた解説を 6名の分担により、ポ 村淳氏らエキスパート う。教科書と名打った している。

に書いてある。初心者 「これを知りたい」と でも自称ベテランでも 写体ごとの実践的なノウ ならではの基礎知識と被 ぼう。デジタルカメラ 八ウを一冊に凝縮。 これだけのことが あろ 表紙 チャー 撮影の基本、す カメラの設定などを知 る。次いで風景&ネイ スなどデジカメならでの 感度、ホワイトバラン 通である。一方ISO 図はフィルム撮影と共 なわち絞り、シャッタ つぼを押さえている。 スピード、露出、構

圧 撮影デー 夕が示してあ 例を示して実践テクニ 分達にも撮れそうな気分 り、これらを参考に自 く。これらを踏まえ ること、現場で役立つ 風景、雪景色など、作 て、サクラ、新緑、水 フレーミング術を説 メーンで、光を見極め にしてくれる。 クへと導く。詳細な 撮影の実践はこの本の

風景&ネイチャー

作例をあげて、ネイチ本命、花、水滴などの は、クローズアップの ヤ - への挑戦と創造性

レンズ、撮影の狙いと はじめに、カメラや 月発行)1600円+ 玄光社(2011年5 で締めくくっている。 をかきたてる。 したい本である。 手元において日頃参考に のデジタルカメラの神髄 夕管理とRAW現像 最後に、撮影後のデ

編集後記

り沢山となりました。いず 会を盛り上げますのでご協 らせ、年会費納入依頼等盛 催案内、作品展示会のお知 力をお願い致します。 れも会員皆様の参加がこの 山撮影ツアー 案内、総会開 ・撮影実習セミナー、富士 の記事は撮影会報告

るでしょう。 記した原稿をいただきまし した。御関心をお持ちの方 見合わせざるを得ませんで 安、増感撮影、寒さ対策、 カメラの設定、露光の目 願います。熱く語って下さ は、直接北村さんに問合せ た。紙面の制約から掲載を の対応についても具体的に 空港での手荷物検査などへ オーロラ撮影に当たり、

マクロ撮影について リーズは休載とします。ご の余裕がなくなり、今回も 戦の記録と合わせて、紙面 「こんな話、あんな話」 高橋さんの素晴らしい挑